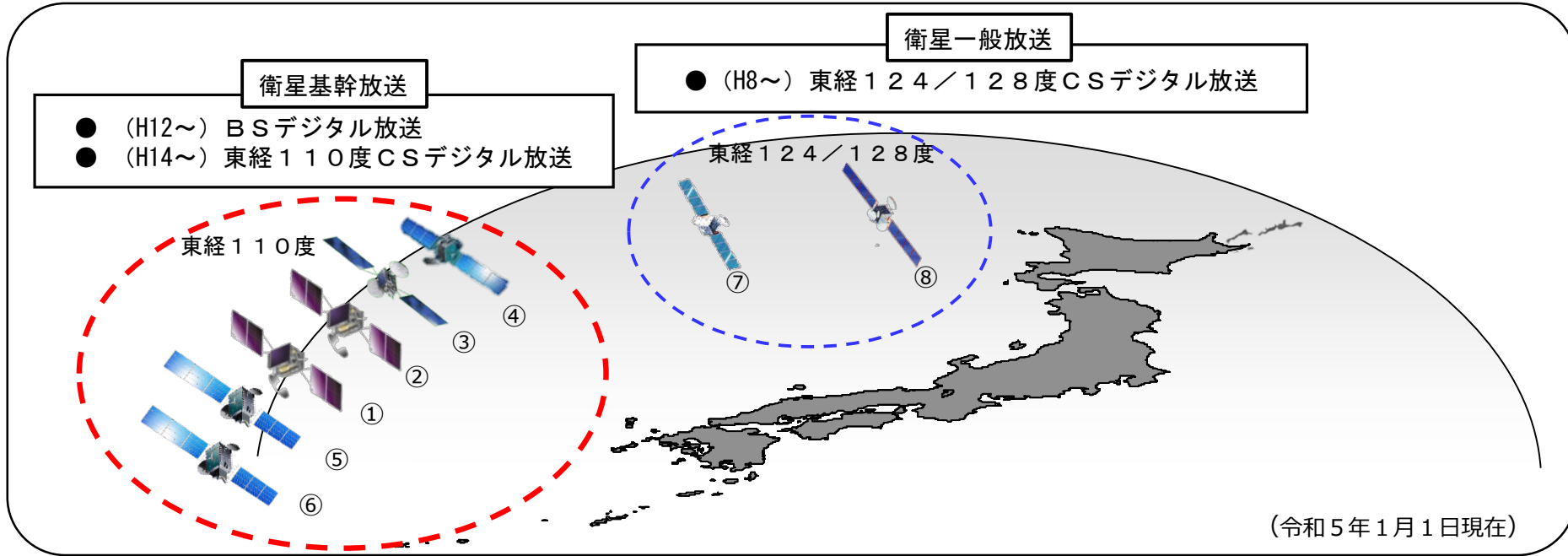


# 衛星基幹放送における マスメディア集中排除原則について

デジタル時代における放送制度の  
在り方に関する検討会事務局


令和5年1月31日



## 運用中の主な衛星

	衛星名	軌道位置	国際周波数割当上の位置づけ	放送種別	運用開始	管理会社
①	BSAT-3a	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成19年10月	(株)放送衛星システム
②	BSAT-3b	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成23年7月	(株)放送衛星システム
③	BSAT-3c /JCSAT-110R	東経110度	放送衛星業務 固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星基幹放送	平成23年9月	(株)放送衛星システム スカパーJSAT(株)
④	JCSAT-110A	東経110度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星基幹放送	平成29年4月	スカパーJSAT(株)
⑤	BSAT-4a	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成30年12月	(株)放送衛星システム
⑥	BSAT-4b	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	令和2年9月	(株)放送衛星システム
⑦	JCSAT-4B	東経124度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星一般放送	平成24年8月	スカパーJSAT(株)
⑧	JCSAT-3A	東経128度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星一般放送	平成19年3月	スカパーJSAT(株)

<p>広域性・経済性</p>	<p>一つの送信点から一波で全国をカバーすることにより 経済的、効率的に全国放送を実現することが可能であり、離島等における難視聴解消にも適していること。</p>
<p>大容量性・高品質性</p>	<p>広帯域の伝送路を設定し、数多くの高画質番組を同時に提供することが可能であり、かつ、視聴者の数がどれほど増えても、それによって品質の劣化が生じないこと。</p>

 有料専門多チャンネル放送、超高精細度テレビジョン放送（4K・8K） など

## 【衛星基幹放送に関する主な規律】

### ○番組準則の遵守（放送法第4条）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（中略）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 一 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 二 政治的に公平であること。
- 三 報道は事実をまげないですること。
- 四 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

### ○マスメディア集中排除原則（放送法第93条第1項第5号）

基幹放送の業務を行おうとする者（中略）は、次に掲げる要件のいずれにも該当することについて、総務大臣の認定を受けなければならない。

- 五 当該業務を行おうとする者が次のいずれにも該当しないこと。（後略）
  - イ 基幹放送事業者
  - ロ イに掲げる者に対して支配関係を有する者
  - ハ イ又はロに掲げる者がある者に対して支配関係を有する場合におけるその者

### ○外資規制（放送法第93条第1項第7号）

基幹放送の業務を行おうとする者（中略）は、次に掲げる要件のいずれにも該当することについて、総務大臣の認定を受けなければならない。

- 七 当該業務を行おうとする者が次のイからルまで（中略）のいずれにも該当しないこと。
  - イ 日本の国籍を有しない人
  - ロ 外国政府又はその代表者
  - ハ 外国の法人又は団体
  - ニ 法人又は団体であつて、イからハまでに掲げる者が特定役員であるもの又はこれらの者がその議決権の五分之一以上を占めるもの

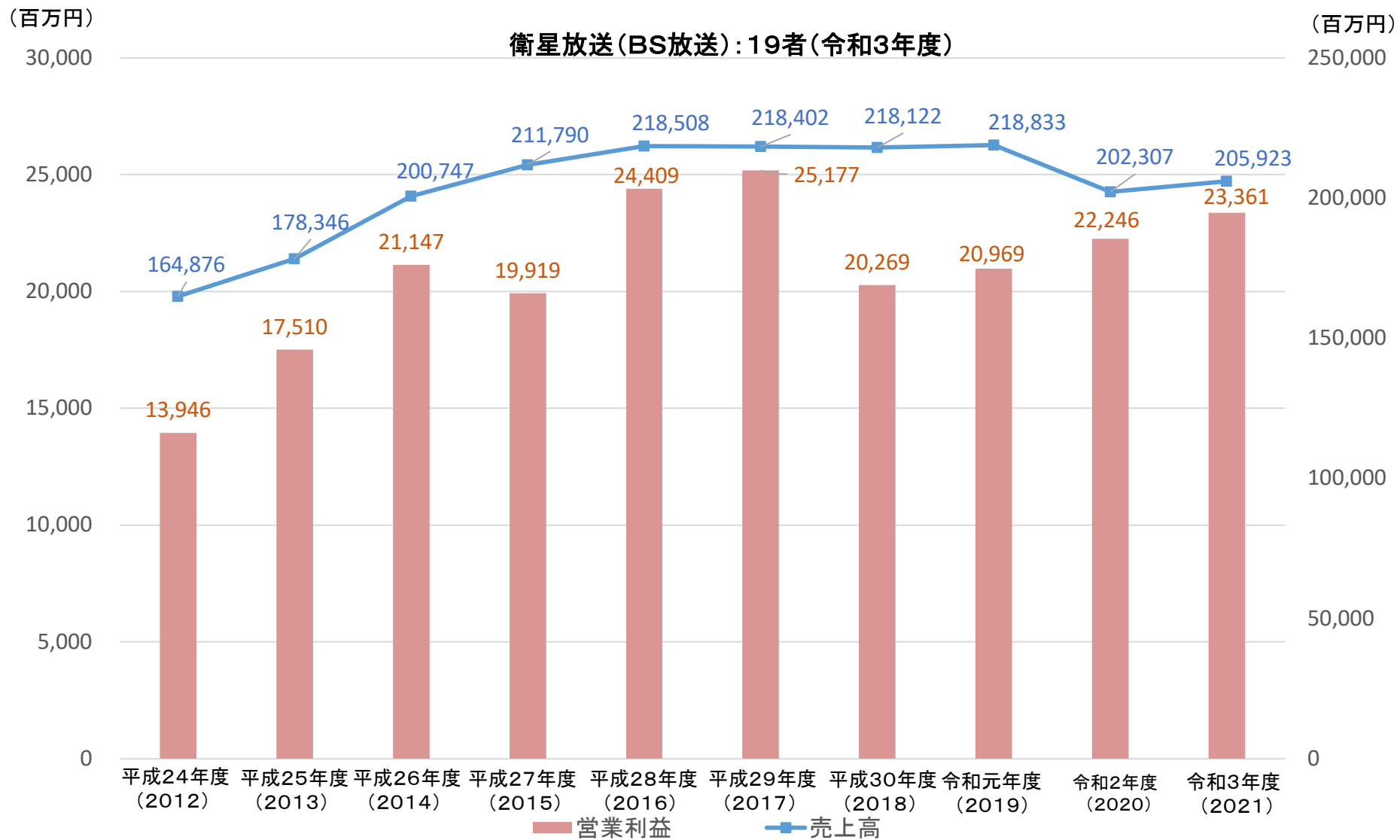
### ○災害に関する放送（放送法第108条）

基幹放送事業者は、国内基幹放送等を行うに当たり、暴風、豪雨、洪水、地震、大規模な火事その他による災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、その発生を予防し、又はその被害を軽減するために役立つ放送をするようにしなければならない。

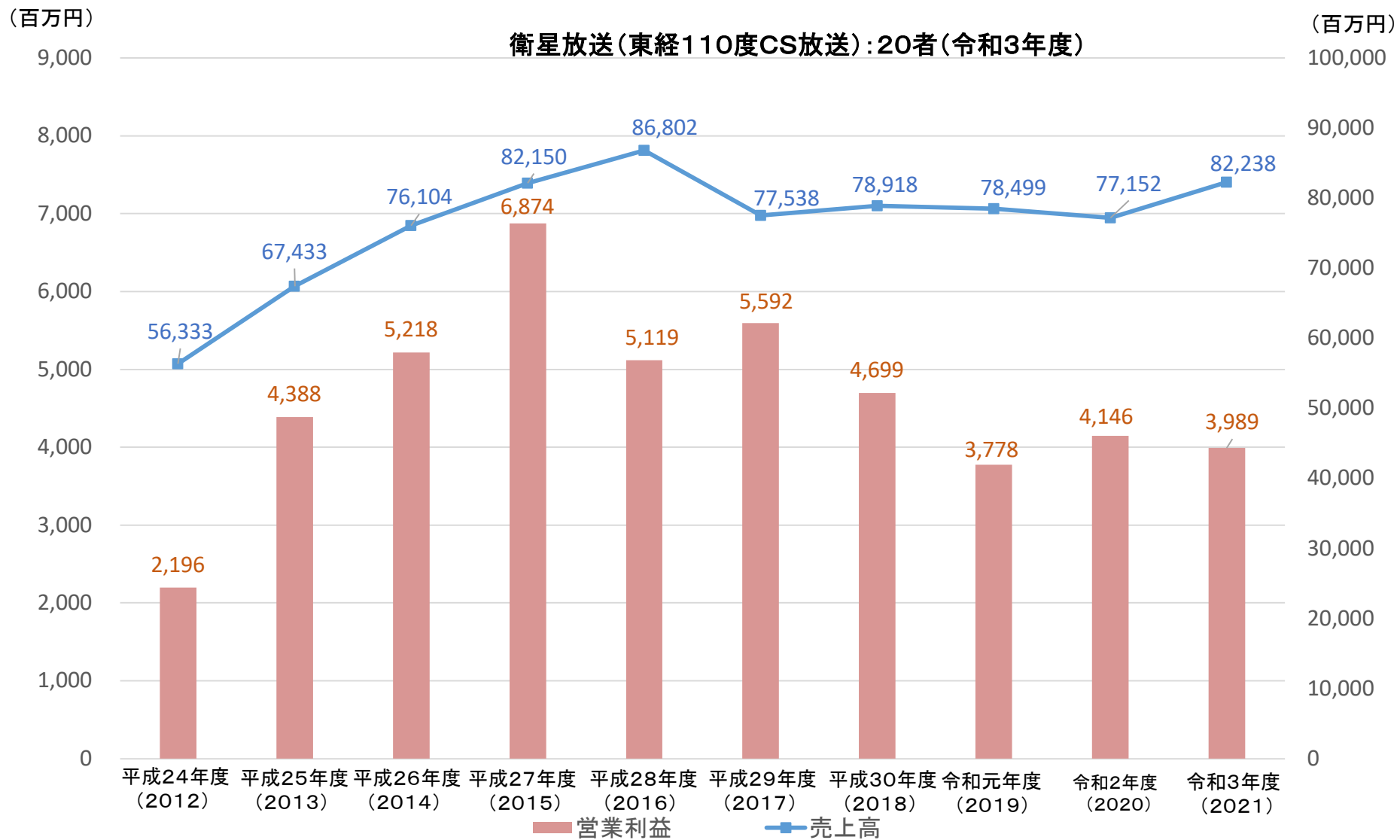
### ○放送設備の技術基準（放送法第111条、第121条）

認定基幹放送事業者は、基幹放送設備を総務省令で定める技術基準に適合するように維持しなければならない。  
 基幹放送局提供事業者は、基幹放送局設備を総務省令で定める技術基準に適合するように維持しなければならない。

# 衛星放送（BS放送）の市場規模等



# 衛星放送（東経110度CS放送）の市場規模等



# BS放送（右旋）のテレビ番組のチャンネル配列図

	1ch (11.72748GHz)			3ch (11.76584GHz)		13ch (11.95764GHz)			15ch (11.99600GHz)					
事業者	BS朝日	BS-TBS	BSテレビ東京	WOWOW	NHK	BS日本	ビーエスフジ	アニマックス ブロードキャスト・ ジャパン	NHK	スター・チャンネル				
番組	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	WOWOW プライム	NHK BSプレミアム (*)	BS日テレ	BSフジ	BS アニマックス (*)	NHK BS1	スター チャンネル2	スター チャンネル3 (*)			
ジャンル	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合娯楽		総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	アニメ		映画	映画			
スロット数	(16)	(16)	(16)	(24)	(18)	(16)	(16)	(12)	(20)	(12)	(12)			
	5ch (11.80420GHz)		7ch (11.84256GHz)			9ch (11.88092GHz)			11ch (11.91928GHz)					
事業者	WOWOW		BS朝日	BSテレビ東京	BS日本	日本BS放送	スター・ チャンネル	ワールド・ハイビジョン・ チャンネル	放送大学学園 釣りビジョン					
番組	WOWOW ライブ	WOWOW シネマ	BS朝日 4K	BSテレ東 4K	BS日テレ 4K	BS11	スター チャンネル 1	BS12 トゥエルビ (*)	(*)	放送大学 BS 釣りビジョン (*)				
ジャンル	総合娯楽	総合娯楽	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	映画	総合編成 【無料】	大学教育放送 【無料】	娯楽・趣味				
スロット数	(24)	(24)	(40)	(40)	(40)	(18)	(12)	(14)	(16)	(12)				
	17ch (12.03436GHz)			19ch (12.07272GHz)				21ch (12.11108GHz)			23ch (12.14944GHz)			
事業者	NHK	BS-TBS	ビーエスフジ	ジェイ・スポーツ				WOWOW	日本映画放送	グリーン チャンネル	ブロードキャスト・ サテライト・ ディズニー	ジャパネット ブロードキャス ティング	BSよしもと	BS松竹東急
番組	NHK BS4K	BS-TBS 4K	BSフジ 4K	J SPORTS 4	J SPORTS 1	J SPORTS 2	J SPORTS 3	WOWOW プラス	BS日本映画 専門チャンネル	グリーン チャンネル (*)	ディズニー チャンネル	BSJapa next	よしもと チャンネル	BS松竹 東急
ジャンル		総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツ	映画	映画	農林水産情報・ 中央競馬	総合娯楽	趣味・娯楽 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】
スロット数	(40)	(40)	(40)	(12)	(12)	(12)	(12)	(14)	(12)	(16)	(12)	(12)	(12)	(12)

■ :スカパーJSAT(株)が有料放送管理事業者として、当該有料放送の役務に係る管理業務を行っている番組。

注: 斜体表示のテレビ番組(7ch、17ch)は4K。

(\*) 現在、空き帯域となっている。

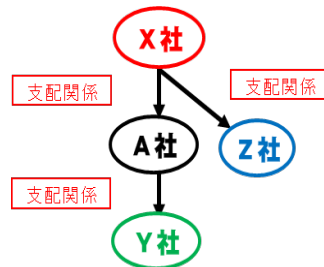
放送開始済みの放送番組数(令和5年1月1日現在)※	
4K 6番組 HD 29番組	合計35番組

※ データ放送、音声放送(1番組)を除く。

## 【「申請者等」が保有可能なトラポン数の上限】

申請者等とは、申請者、申請者を支配する者、申請者により支配される者、申請者を支配する者により支配される者のこと。

【「申請者等」の範囲】



### 支配の基準

- ・ 議決権の3分の1を超え保有すること
- ・ 1/5超(経営基盤強化計画認定制度を活用する場合は1/3超)の特定役員数を兼務すること
- ・ 代表権を有する役員又は常勤役員(監査役等除く)を兼務すること

申請者	衛星基幹放送		衛星一般放送
	BS放送	東経110度CS放送	
「地上基幹放送事業者等※1」以外の場合	4トラポン※2		衛星一般放送は マスメディア集中排除原則 が規律されていない
「地上基幹放送事業者等※1」の場合	✕ (※3、※4)	2トラポン	

※1 地上基幹放送事業者、地上基幹放送事業者を支配する者、地上基幹放送事業者により支配される者、地上基幹放送事業者を支配する者により支配される者のこと。

※2 HD・SD番組と4K・8K番組の両方を行う場合は、HD・SD番組について4トラポン、4K・8K番組について4トラポンまで支配可能。

※3 2分の1以下の議決権の保有が可能。

※4 認定放送持株会社の関係会社の場合は、HD・SD番組について0.5トラポン、4K・8K番組について0.5トラポンまで支配可能。

※5 NHK及び放送大学学園を申請者とする申請者等は、マスメディア集中排除原則の適用については各号に適合するものとみなす。

- 衛星基幹放送におけるマスメディア集中排除原則の見直しについては、「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」において、株式会社フジ・メディア・ホールディングスから、認定放送持株会社がBS放送において支配可能なトランスポンダ数の上限（0.5トランスポンダ）の緩和に関する要望が示された。
- 複数回の議論を経て行われた検討会のとりまとめにおいては、個々の認定放送持株会社における衛星放送事業の経営の選択肢や柔軟性を拡大する観点から、「認定放送持株会社が衛星基幹放送（BS放送）を追加的に1チャンネル保有することで一時的に上限（0.5トランスポンダ）を超える場合であっても、関係するチャンネルに効率的な圧縮方式を新たに導入して周波数を有効利用することにより、一定期間経過後に上限内に収めることができる計画を有することが確認できれば、当該期間内においてそれを容認する特例措置をとることが適当である」旨提言がなされた。
- しかしながら、その後「BSスカパー！」が令和4年10月末に放送を終了し、「NHKBSプレミアム」も令和6年3月末に放送を終了することが発表されている。
- 他方、効率的な圧縮方式である「HEVC方式」の2K放送への事業者による選択的な導入は中期的に進められていく必要があり、また、地上放送においては、今般、認定放送持株会社の地域特例が大幅に緩和されようとしている状況にある。
- こうした点に鑑みれば、ネット配信の進展や若者のテレビ離れなど放送を巡る環境が大きく変容している中、衛星基幹放送事業者の経営の強化や安定化等に迅速に対応し、BS放送における番組の多元性・多様性を確保するため、マスメディア集中排除原則の在り方について改めて検討することが必要である。



**(参考)**

# BS放送（左旋）のテレビ番組のチャンネル配列図

	2ch (11.74666GHz)	4ch (11.78502GHz)	6ch (11.82338GHz)	8ch (11.86174GHz)		
事業者	未使用	未使用	未使用	SCサテライト 放送	QVC サテライト	(*)
番組				ショッピング チャンネル 4K	4K QVC	
ジャンル				ショッピング 【無料】	ショッピング 【無料】	

スロット数 (120) (120) (120) (40) (40) (40)

	10ch (11.90010GHz)	12ch (11.93846GHz)			14ch (11.97682GHz)	16ch (12.01518GHz)
事業者	未使用	WOWOW	(*)	(*)	日本放送協会	未使用
番組		WOWOW 4K			NHK BS8K	
ジャンル		総合娯楽				

スロット数 (120) (40) (40) (40) (120) (120)

	18ch (12.05354GHz)	20ch (12.09190GHz)	22ch (12.13026GHz)
事業者	未使用	未使用	未使用
番組			
ジャンル			

スロット数 (120) (120) (120)

注：BS放送（左旋）のテレビ番組は4K（NHKは8K）。

(\*) 現在、空き帯域となっている。

放送開始済みの放送番組数(令和5年1月1日現在)	
8K 1番組 4K 3番組	合計4番組

# 東経110度CS放送(右旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

ND2 (12.291GHz)				ND4 (12.331GHz)				ND6 (12.371GHz)					ND8(12.411GHz)					
事業者	シーエス・ワンテン			CS-TBS	シーエス・ワンテン	名古屋テレビネクスト	日本映画放送	スカイA	囲碁将棋チャンネル	インターローカルメディア	シーエス・ワンテン	サテライト・サービス	スカパー・エンターテイメント	SCサテライト放送	サテライト・サービス	東映衛星放送		
番組	テレ朝チャンネル2	デイズニージュニア	テレ朝チャンネル1	TBSチャンネル1	MTV	エンタメ+テレHD★ シネドラバラエティ	時代劇専門チャンネルHD	スカイA	囲碁・将棋チャンネル	ホームドラマチャンネル	歌謡ポップスチャンネル	ミュージック・エア	ディスカバリーチャンネル	アニマルプラネット	カートゥーンネットワーク	東映チャンネル		
スロット数	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(12)	(12)	(12)	(12)

ND10 (12.451GHz)				ND12 (12.491GHz)				ND14 (12.531GHz)				ND16 (12.571GHz)							
事業者	スカパー・エンターテイメント			松竹ブロードキャスティング	ソニー・ミュージックソリューションズ	GAORA	スカパー・エンターテイメント	キッズステーション	インタラクティブィ	東北新社メディアサービス			宝塚クリエイティブアーツ	インタラクティブィ	CS日本	AXNエンタテインメント	シーエス・ワンテン		
番組	スカチャン1	KBS World	スポーツライフ+	衛星劇場HD	MUSIC ON! TV (エムオン!)HD	GAORA HD	ナショナルジオグラフィック	キッズステーションHD	ヒストリーチャンネル	ザ・シネマHD	ドラマTVHD	スーパー!	ファミリー劇場HD	TAKARAZUKA SKY STAGE	ATX HD!	AXN ミステリー	AXN	AXNエンタテインメント	シーエス・ワンテン
スロット数	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(6)	(6)	(6)	(6)

ND18 (12.611GHz)				ND20 (12.651GHz)				ND22 (12.691GHz)			ND24 (12.731GHz)									
事業者	インタラクティブィ				サテライト・サービス				CS-TBS		スカパー・エンターテイメント	CS日本								
番組	ゴルフネットワーク	サスペンス・日本のうた	チャンネル銀河 歴史ドラマ	女性チャンネル LaLaLa TV	ムービープラス	フジテレビONE	スポーツ・バラエティ	スペースシャワーTVHD	フジテレビWOW	ドラマ・アニメ	フジテレビNEXT	ライブ・プレミアム	QVC (キュー・ワイ・シー) 【無料】	TBSチャンネル2	TBS NEWS	FOX	日テレG+ HD	チャンネルNECO	日テレプラス	MONDO TV
スロット数	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)

■ 総合娯楽 ■ 映画 ■ スポーツ ■ 音楽 ■ アニメ ■ 海外ドラマ・バラエティ ■ 国内ドラマ・バラエティ・舞台 ■ ドキュメンタリー ■ ニュース ■ 娯楽・趣味 ■ 教育 ■ ショッピング

※スカパー・JSAT(株)が有料放送管理事業者として、上記全ての衛星基幹放送事業者が提供している有料放送の役割に係る管理業務を行っているもの。

放送番組数(令和5年1月1日現在)	
HD42番組	SD 12番組
合計54番組	

# 東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

	ND25 (12.231GHz)		ND1 (12.271GHz)		ND3 (12.311GHz)		ND5 (12.351GHz)		ND7 (12.391GHz)	
事業者										
番組	未使用		未使用		未使用		未使用		未使用	
ジャンル										
スロット数	(120)		(120)		(120)		(120)		(120)	
	ND9 (12.431GHz)		ND11 (12.471GHz)		ND13 (12.511GHz)		ND15 (12.551GHz)		ND17 (12.591GHz)	
事業者	スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント							
番組	<i>J SPORTS</i> 1 (4K)	<i>J SPORTS</i> 2 (4K)	<i>J SPORTS</i> 3 (4K)	<i>J SPORTS</i> 4 (4K)	未使用		未使用		未使用	
ジャンル	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツ						
スロット数	(60)	(60)	(60)	(60)	(120)		(120)		(120)	
	ND19 (12.631GHz)		ND21 (12.671GHz)		ND23 (12.711GHz)					
事業者	スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント					
番組	スターチャンネル 4K	スカチャン1 4K	スカチャン2 4K	(*)	日本映画+時代劇 4K	(*)				
ジャンル	映画	総合娯楽 【無料】	総合娯楽 【一部有料】		総合娯楽					
スロット数	(60)	(60)	(60)	(60)	(60)	(60)				

注: 東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組は4K。

(\*) 現在、空き帯域となっている。

放送番組数(令和5年1月1日現在)	
4K 8番組	合計8番組

## 要望② マス排特例「衛星基幹放送のトラポン数の上限」の緩和



【現行】認定放送持株会社はマス排の特例として、BS放送の0.5トラポンまで使用可能

現行		BS放送 (2K・4K)
	認定放送持株会社	各0.5トラポン

## トラポン数の上限の緩和を要望

- ✓ 複数局のBS放送の保有が認められているにもかかわらず、0.5トラポン上限では事実上1社しか保有できない
- ✓ 動画配信市場が急成長する中、衛星事業を含めた今後のメディア事業における選択肢を広げたい
- ✓ 動画圧縮技術の進展等により、衛星周波数の希少性は緩和傾向にある

## 第5章 デジタル時代における放送制度の在り方

### 1. マスメディア集中排除原則の見直し

#### (3) 今後の方向性

##### ② 衛星基幹放送関係

認定放送持株会社制度の特例として認められている衛星基幹放送(BS放送)のトランスポンダ数の保有上限規制(0.5トランスポンダ)自体は、現時点においてはBS放送に割り当てられる総トランスポンダ数に変更がないことに鑑みると、現状維持とすべきである。

BS放送に割り当てられる総トランスポンダ数が変わらない状況にあっても、圧縮技術の高度化等により、同じ帯域の中により多くのチャンネルが収容できるようになり、画質の向上も図られるようになる。これにより、放送の多元性・多様性が一層確保されると考えられる。

こうした点を踏まえ、個々の認定放送持株会社における衛星放送事業の経営の選択肢や柔軟性を拡大する観点から、例えば、認定放送持株会社が衛星基幹放送(BS放送)を追加的に1チャンネル保有することで一時的に上限(0.5トランスポンダ)を超える場合であっても、関係するチャンネルに高効率な圧縮方式を新たに導入して周波数を有効に利用することにより、一定期間経過後に上限内に収めることができる計画を有することが確認できれば、当該期間内においてそれを容認する特例措置をとることが適当である。